

獣医師

中央家畜保健衛生所



倉橋 浩一

Karakashi Koichi

平成28年度
採用

異動経歴

H28年採用 東総食肉衛生検査所
R2年 中央家畜保健衛生所



Q1 あなたが採用された職種の魅力について教えてください。

公衆衛生分野と家畜衛生分野において重要な役割を担い、食の安全と畜産に関わる人々の生活を支えています。家畜衛生や、と畜検査、食品衛生など様々な分野で活躍することができます。また、病原体の解析や畜産に関する技術開発などの研究を行う研究員として勤務する人もいます。食の生産現場から県民の食卓を彩る食品まで一貫して携われることは、県の獣医師ならではの魅力だと思います。

Q2 仕事の内容とやりがいを感じる瞬間について教えてください。

家畜保健衛生所では、県内の畜産の振興のため、家畜の伝染病予防やまん延防止、家畜疾病の診断など、家畜衛生の向上を担っています。私は、ウイルス検査担当として県内の牛や豚、鶏などの産業動物の病気の診断をしています。病気の原因を突き止められた時に、食の安全と畜産業に貢献できたと思いやりがいを感じます。

Q3 千葉県を選んだ理由を教えてください。

小学生の頃から千葉県で暮らしていて、親しんだ地元であるということ。また、千葉県は人口も多く首都圏でありながら、採卵鶏、豚、乳牛が全国上位に入るほど畜産業が盛んです。獣医師として人と動物の懸け橋になりたいと思い、千葉県を選びました。

Q4 職場の雰囲気について教えてください。

私のいる佐倉庁舎には獣医師が12名所属し、若い職員が多く和気あいあいと仕事をしています。ウイルス、細菌、病理、生化学の4つの分野に分かれ、基本的にはそれぞれの分野で仕事をしています。人手がほしい検査があるときは皆で協力して早く退庁できるように頑張っています。家畜保健衛生所の職員は若い職員が多いので、家族ぐるみでお付き合いをしている職員もいます。

Q5 仕事をする上で心掛けていることを教えてください。

自分の意見をしっかり持つということと疑問に思うことはそのままにしないこと。自分たちの判断で畜産農家や県民に多大な影響を与えるため、判断に間違いがないようにちょっとしたことでも、気になることは話し合うようにしています。また、牛や豚など大きな動物を相手にするため、事故が起きて怪我をしないように心掛けています。

Q6 仕事の中で難しく感じていることや苦勞したこと、大変だったことを教えてください。

私は現場の経験が少なく、そこから検査部門に異動になったため、畜産農家さんが何を考えているのか、どういうことを知りたいのかを想像するのに苦勞しています。現場と検査の両方の知識を持った獣医師が増えることで円滑な業務と迅速な診断により農家さんにより丁寧な説明ができると考えています。

Q7 あなたの考える千葉県の魅力を教えてください。

都市部と海と田園風景と様々な顔を見せるところです。地元の人たちから愛される魅力的な観光スポット、美味しい飲食店がたくさんあるので、ぜひ知ってほしいと思います。

Q8 休日や退庁後の余暇の過ごし方について教えてください。

平日はジムで走ったり近所の温泉に行き、汗を流しています。また、妻の実家で作ったお野菜をいただいて、レシピ動画を参考に料理を作っています。茄子の煮浸しとハヤシライスが得意料理です。神社やお城巡りも好きで、地図アプリで調べて車で出かけています。本佐倉城跡、飯高檀林跡、大原幽学記念館がおすすめです。

Q9 今後の目標や挑戦してみたいことなどを教えてください。

これから現場をもっと知り、現場と検査部門の橋渡しをしたいと考えています。色々な立場を経験し職員が生き生きと働きやすい環境を作っていきたいです。

Q10 受験者へのメッセージをお願いします。

動物の命と向き合う仕事が多くあります。大変なこともあります。我々にしかできない仕事がたくさんあります。新しい発想と小さな勇気を待っています。

ある一日の流れをピックアップ

8:30
出勤・メールチェック

9:00
細胞継代

10:30
中和試験、遺伝子検査

12:00
昼食

13:00
病性鑑定

16:30
回答書作成

17:15
退庁

